

地域のみなさまの健康づくりとふれあいを目的に「第1回鳥取福祉会健康ウォーク」開催

取り組み内容のポイント 鳥取福祉会においていただき、参加者同士、地域住民、職員との交流を図ることを第一の目的とし、老若男女を問わず簡単に行える運動「歩く」という行為をとおして、自然とふれあいながら心身ともに健康維持、増進を図ることを第二の目的とした。そして、地域の方々を中心に鳥取市全体に広く参加を呼び掛けた。

鳥取県

社会福祉法人

鳥取福祉会

〒680-0873 鳥取県鳥取市の場2丁目1番地

TEL：0857-51-7272 FAX：0857-51-7273

❖法人設立年

昭和53年

❖法人実施事業

①経営施設数合計：29施設

②経営施設・事業：

特別養護老人ホーム…1、短期入所…1、養護老人ホーム…1、特定施設入居者生活介護…1、認知症対応型共同生活介護…1、小規模多機能型居宅介護…1、通所介護…3、訪問介護…1、訪問入浴…1、居宅介護支援…3、就労継続支援A型…1、就労継続支援B型…1、生活介護…1、保育所…8、一時預かり…3、母子生活支援施設…1、地域子育て支援…1、児童館…11

❖法人の理念・経営方針

【基本理念】

「ともに生きる社会」を基調とし、地域に広がる福祉の文化の創造を推進します。

【基本方針】

1. 一人ひとりの人権を尊重し、誰もが心身ともに健やかに育成されるよう支援します。
2. かけがえのない社会の一員として自立支援に努めます。
3. 地域に愛され、地域に開かれた施設づくりをします。
4. 常に職員の資質向上をはかり、良質なサービスを提供します。
5. 透明性を堅持し、健全かつ活力ある法人経営をします。

❖取り組みの定款・事業計画上の位置づけ

①定款記載の有無：記載していない

②事業報告・計画への記載：記載している

❖取り組みを実施している施設の概要

【施設名】法人本部

【施設種別及び利用定員】

本部主動で法人全体の取り組み

❖活動内容

◇活動開始年：平成22年10月

◇活動の対象者：主に鳥取市民

◇活動の頻度・時間：1年に1回

◆活動実施の背景、実施にいたった理由

当法人は、昭和53年に保育所の開設とともに設立された法人で、障がい福祉、老人福祉など鳥取市の総合的な福祉の担い手として躍進してきた。

このような中、平成21年度からの中期経営計画のビジョン「利用者、地域から選ばれ信頼される法人を目指し、地域との繋がりを強化しながら、経営基盤の強化と安定を図る」を掲げ達成に向けて努力している。

その初年度の平成21年度に職員有志とその家族65人が鳥取市内に12kmと8kmのウォークコースを設定し歩きながらごみ拾いを行った。歩きながらごみを拾うことが地域貢献と環境の良い暮らしが地域住民の健康増進になればとの趣旨で実施したものであった。

当日は非常に天候も良く参加した職員全員が心地よい汗と気持ちよさを感じ、昼には参加者全員で用意したおにぎりと豚汁を食べ、和やかに食事をしながら感想や課題、反省など話し合った。この気持ちよさを地域の方々にも味わってほしいという気持ちが強く、反省会とともに実行委員会を立ち上げ平成22年度「第1回鳥取福祉会健康ウォーク」開催に至った。

◆実施内容

「第1回鳥取福祉会健康ウォーク」は、～地域のみなさまの健康増進とふれあい～をテーマに、ボランティアに参加する職員は一丸となって、参加者のみなさまを「おもてなしの心」で迎えることとした。

法人本部を会場及びスタート・ゴールとし、法人職員から募集したボランティアがそれぞれの担当、役割を務めた。

■開催日 平成22年10月17日（日）10：00スタート

■参加者 122名

■ボランティア 66名

■コース 12km、7km

■サービス 水分補給、おにぎり・豚汁、写真撮影、血圧測定、因幡万葉歴史館入館（コース途中）

■参加費 無料

◆活動効果（利用者や職員、地域などの反応、影響）

参加者は最年少3歳から最年長83歳まで年齢層は幅広く全員完歩。そのうち参加者89名にアンケートに答えていただいた。

コース、サービス等に関する項目の意見としては「景色がよく、自然がいっぱいで気持ち良かった。」「おにぎり・豚汁が大変おいしかった。」などで、大会全体に関する項目では「来年も是非、開催してください。」「次回も参加したい。」「職員の方、皆親切でとても良かった。」などのありがたい意見が非常に多く記述しており、感動するとともに次年度以降も継続することとなった。

ボランティアである職員の温かさが通じると心配したが、参加者の皆様が帰られる際には「ありがとう。」「おいしかった。」「来年もまた来る。」などと感謝の気持ちを言われ、主催者として本当に開催して良かったと感じる瞬間であった。さらに、法人全体の職員がボランティアとして参加したため普段会う機会の少ない職員同士の交流ができたことも大きかったと考える。

◆今後の展開

現在「第2回鳥取福祉社会健康ウォーク」開催に向けて、昨年の反省を基に前回よりどのようにしたら参加者の皆様に更に喜んでもらえるのか、より多くのニーズに応えられるのかコース設定、サービス向上、PRの方法などについて実行委員会で検討中である。

鳥取市内で当法人が41の事業を展開させていたでいるのも、地域のみなさまの協力なくしては成り立たないということを肝に銘じ、社会福祉



第1回大会ウォーク参加者

法人として今後も地域との繋がりを強化しながら、利用者、地域から選ばれ、信頼される法人を目指していきたい。

◆主な経費や財源及び人員等

※年間あたり

主な経費	経費概算額	主な財源	財源概算額
宣伝費	114,408円	法人自己財源	312,652円
消耗品費	80,030円		
万葉歴史館入館料	24,800円		
食材費等	93,414円		
<合計>	312,652円	<合計>	312,652円

- ・取り組みに係わった職員数 66名
（職種等：管理職、介護士、保育士、看護師、相談員、調理員、栄養士等）

※法人全体の事業規模

（平成22年度決算の事業活動収入） 3,315,601千円



第1回大会出発風景

第2回鳥取福祉社会健康ウォークパンフレット